

■はじめに

現 MAGIC 代表である木戸口が平成 4 年度（1992 年）、衣料品と飲食が同時に味わえる店舗を金沢・片町にて開業

当初は開業間のない店舗であったため、協力、協賛者などもたず、商品構成は仕入れを中心として企業やメーカーなどには頼れず、自らがアメリカ・カリフォルニア州に渡り、厳選な目でセレクトした買付け製品やユーズドウェア等を個人輸入してきた。

同時にアメリカンカジュアルの流通やユーズドウェアを通してメーカーの歴史や市民との深い係わり、そもそものフリーマーケットやスワップミートのあり方などを 20 数回に及ぶ渡米歴の中で学び、金沢の地に発信してきた。併せて衣服のリサイクルやリペア技術も本場アメリカで独自に修業し、幾多の基礎を学んできた。

偶さかではあるが、その商品構成やサービスの在り方、その思想は小さな店舗の小規模運営事業にも関わらず、ファッション好事家の同意を得ることができ、年代を問わずに多くの顧客層が訪れてきてくれた。

時には県内大型ジーンズチェーン店の買付け業やアドバイスをを行い、協力も行ってきた。

現在において片町～堅町と金沢の中心部で営み、満 20 年となるが、これまでの多くの顧客、企業に支えられ、またその取り組みや構想が現在の技術や発想の源となっている。

例えば『加賀友禅×リメイクジーンズ』や各認定技術である『純金印箔プリント』、そして独特の技術であるジーンズのリメイクやリペアという（リサイクル事業にも特化した）サービスの原点がそこにある。

自身もおよそ 8 年前より堅町商店街振興組合の理事として、そして現在も委員として金沢中心部商店街の活性化事業やにぎわい創出、街の保安に務めてきており、現在では独自で多くの伝統工芸者との共同作業や展示会業務、そして学校、学生たちとの交流やインターンシップなど地域貢献も少なからず行ってきた。

その取り組みや経緯においては多くの人々に支えられつつも歓迎され、マスコミの話題ともなってきた。

翻ると、何もなく能登の田舎より石川県の中心部に来て、今では本当に地域の方々中心に支えられてきたと思う。

そして今後は街中 20 年間の経験と人脈、ノウハウを活かし新たな地場商品情報の発信拠点を開設する

■店舗の取り扱い業務

- オリジナルデザインプリントウェアの製作
- 衣服のデザイン業務全般
- 衣服の補修及びリサイクル事業
- 衣服製作における企画・販路開拓事業
- 金箔加工業務
- 伝統工芸者間の交流・新製品開発・支援事業
- 地域活性化促進・創出事業・協働事業 他

■これまでの事業内容、認定・採択歴など

- ・平成4年度（1992年）より事業を開始するにあたり、「こだわりの商品」を発信すべく、実際に見て知り、買い付け自らが個人輸入をすることをポリシーに、アメリカに渡った



LAでのTシャツの買い付け風景



ジーンズの買い付け風景



ジーンズのクリーニング風景

(LA一番の巨大倉庫にて)

同時にジーンズのリペア（縫製）技術の研究や、流通経路の追求、現地デザイナーや日本人などとの交流を深めてきた
また、パサディナ（ローズボウルスタジアム）でのフリーマーケット出展や、サンフランシスコでのコミックショー等での出展を重ねてきたりと地域に密着しアメリカの文化を自分なりに体感してきた



(ビンテージジーンズ)



中には一本で数十万円するジーンズも珍しくはない

会員制有名セレクトショップ

LA チャンネルTV 出演風景

- 平成12年度より製品販売の他、リメイクジーンズや独自のデニム縫製技術によるリメイクで加賀友禅ジーンズやTシャツなどを発表する

本来より提案してきたジーンズのリサイクル事業及び、それらの製品は地域らしさも融合されているとされ、後にTBS系多地方ネットやNHK金沢などの取材を受けた



またこの頃より改めて地域産業の活性化の一助になるべく、金沢の地域資源である金箔を活用した衣類への

プリント技術（現印箔プリント）の研究を独自で開始する

・平成 20 年度

印箔プリントの技術のおおよそが完成し、実用新案を取得

同年に『金沢ブランド優秀新製品』に認定され、初めて当技術が話題を呼び多くの取材を受ける

また、同時に技術と取り組み内容が受け入れられ、県主催の第一回目となる『地域資源活性化ファンド事業』に採択

『発明くふう展』にて当技術が「金沢市長賞」として授与

JAIST（国立北陸先端科学技術大学院）主催『伝統工芸イノベータ養成ユニット』の一員として参加し、今後の製品開発とイノベータ育成のための事業を行うため、全過程を修了



金沢ブランド優秀新製品授与式の様子



第一回目 地域資源活性化ファンド事業採択式の様子





この年には多くのテレビや雑誌、新聞取材を頂けた
 その一方では取材当日に社説にもご意見を頂くことができた



東京ミッドタウン内「THE COVER NIPPON」での限定販売の様様
『印箔コースター』は2週間で完売となり、急ぎょ追加した

他にも地域貢献や地域活性化については我々のできることより一歩ずつ始めてきた



この後、堅町商店街振興組合の理事となり、一層の地域活性化、発展事業に努めた

・平成 21 年度

印箔プリント技術と取り組みが国による『地域資源活用事業計画による認定』において国より採択される『石川ブランド新製品』認定
金沢おしゃれメッセにて『ファッションコンクール』にて初出場グランプリの栄冠に輝く
県の主催する『産業化資源活用等雇用創出支援委託事業』にて採択



ISICO 主催の授産施設との会議での発表

昨年度と比べ、話題性よりも具体的な製品や事業への取り組みが多く取り上げられた



ファッションコンクールでの風景

一流デザイナーや縫製専門家でもなく、たとえ街中の店舗スタッフでもこのような技術があることを明確に示すことができた

・平成 22 年度

第一回目となる『活力ある推進会議』にて選出され、知事グループの面前にて発表の場を頂き、石川県の行政のトップの方々や銀行頭取、各大学長にお時間を頂き、その中で多くの議論が交わされた
また、内閣府などの主催による『ソーシャルビジネスメッセ』に石川県内の一企業の取り組みとして発表してきた『地域資源活性化ファンド』にて新たな取り組み内容にて採択頂く



第一回 活力ある推進会議での風景



ソーシャルビジネスメッセでの各県の方々やマスコミと情報交換する風景

知事グループとのプレゼン発表後にも地域の活性化や学生（学校）との交流を行ってきた



金沢大学工学部大学院生との共同研究についてのプレゼンテーション風景



JAIST 伝統工芸イノベータとしてのしいのき迎賓館での展示会風景

JAISTのみならず、KIT（金沢工業大学）や金沢大学、各種専門学校とも交流を図り、「産官学」の連携をもてるよう、
堅町商店街を始めとし、「地域性」を重視して地域住民が多くの繋がりがもてるよう努めた
また学生の他、高齢者グループや女性グループも構築し、可能な範囲での共同作業に努めた



第一回目開催となった『いしかわのこだわり商品フェア』では、大手百貨店内であったが、学生のインターンシップだけではなく
販売者だけではなく、おもてなしの地域性をもたせるため、女性グループの方々にも進んで参加頂いた
この事業内容はNHK金沢が独占取材を行ってくれた



地元地域テレビ局のイベントにも KIST（科学技術専門学校）学生のみでの制作に取り組んで頂き、予選では多くの企業を相手にも
YouTubeにて再生回数トップにて通過した

・平成 23 年度～24 年度は

『地域資源活性化ファンド』事業にて、ほぼ印箔技術が完成となったため、県外に目を向けた活動を行った
例えば、国民的歌手である DREAMS COME TRUE が印箔プリントTシャツを大型コンサート会場で展示され、
多くの話題を呼ぶ（現在は北海道の観光名所でもあるドリカムミュージアムに展示中）

また、世界的スターLed Zeppelin のリーダー兼ギタリストであったジミー・ペイジの来日の際、本人に会う
方より依頼を受けた印箔で本人のシンボルマークを施した製品を渡した際、とても喜んで頂き、通訳士を介して
石川・金沢の事をしきりに聞いていたという



ドリカムのオフィシャルブログにも石川県の事やものづくりに携わる方々に
応援のメッセージを長く綴って頂きました
また、反響も大きく驚きました



Led Zeppelin ジミー・ペイジのシンボルを
純金（24K）加工を致しました

東京ガールズコレクションにおいて、初となるご当地キャラクターの出展を盛り上げるために石川県・七尾市和倉温泉のご当地キャラクター「わくたまくん」の衣装製作などを手掛け、参加してきた
こちらは大原専門学校のデザイン科の生徒を参加させ、このような大舞台に地域と人のまさに皆の力で臨んだ
この模様は地域各局・各誌にも大々的に報道された



今や女性ファッション界最大のイベントとなった
東京ガールズコレクション (TGC)



全国区メジャー番組や雑誌・新聞社が訪れた



わくたまくと旅館の若女将たち

JAISTでの「伝統工芸イノベータ」の中より基本として有志を集い、伝統工芸者の集まりである「石川百工会」を立ち上げ『伝統工芸×スニーカー展』を開催し、多くの場所で展示・発表させ、製品の特徴のみならず、グループ構成や取り組み方は多くの反響を呼んだ

特に展示会場などをメインとするのではなく、商店街など地域の方々にも気軽に見て触れることができる形態は若いファミリー層や高校生など、予想していなかった地域住民にも多く出会えたことは無形の財産となった
また、能登空港や尼御前サービスエリアなど観光旅行者の拠点となる場所でも依頼頂き、盛大に行うことができた



この展示事業は地域性を出すためにも堅町商店街と地域住民との触れ合いから始まった

MRO「レオスタ」で各工芸者との共演



展示されたスニーカーは各伝統工芸者の手によって鮮やかなものになった

展示後に出展要望が多かったのも、我々にとっては見た方々がしっかりとメッセージを受け取って頂いたからであろうと周囲は思い、喜んでいる

これらの取り組みを経て、次回は 2013 年度の夏に我々の主催による『いしかわのおみやげプロジェクト』や『伝統工芸×ベビーカー展』をしいのき迎賓館にて 2 週間のロングランで開催予定である。

また、県内を中心とする企業も快く賛同頂き、しいのき迎賓館という県の施設であるからこそ、地域住民や学校を絡めた参加型のイベントも同時に開催することとなっています。

このように、こつこつとできる取り組みから、北陸新幹線開通に向けて来たる機会に全力で臨みたいと思っております。企業間や伝統工芸者などがコラボレーションをし、喜びやそれぞれの課題など、いい意味合いでかつ現実的に共有することにより、今後において新製品が産み出され、販路開拓のヒントとなることと我々は位置付けています。

■ 今後の歩み

今後において地域の活性化や共同の精神の中で、それぞれの商品における時代背景やニーズ、北陸新幹線の開通などに合わせて事業を展開してゆきたい。

店舗の取扱業務の他にも以下の事柄を掲げてゆく。

- ・ 情報の共有
- ・ 地域性の向上
- ・ 地域間の連携
- ・ 地域住民の参加
- ・ 共生社会の構築
- ・ 伝統工芸の伝達と発展
- ・ 各地域ブランドの創出
- ・ それぞれの市民権の確立
- ・ 企業間の共同・共有・協働
- ・ 地域資源の新たな活用と掘り起し

…などこれから大いに賑わうであろう“北陸地方”とその歴史、文化、地域資源などを多くの企業や地域の人々と共同作業の中で盛り上げてゆきたい。

何より同時に地域性を向上できるこの千載一遇の機会と時期を是非とも地域みんなの力で活かし、繋げたいと願ってやまない。

制作 木戸口